

科目名		経営情報学専門演習Ⅲ (Seminar in Management InformationⅢ)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	経営情報学科	学修	2単位	必修	講義/演習	通年 100分/週	90時間		
担当教員		【常勤】松野 成悟, 挟間 雅義, 根岸 可奈子, 田川 晋也							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1)経営学や会計学などの観点から演習課題の目的を把握し、その内容を理解し、説明することができる。 (2)これまでに修得した経営系科目の専門知識とスキルにもとづいて、グループでの討議に積極的に参加し、演習に適切に取り組むことができる。 (3)演習課題の成果を適切にレポートにまとめ、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。								
学習・教育目標	(C)②	JABEE基準1(2)			(d)-(1), (e), (i)				
関連科目、教科書および補助教材									
関連科目	経営管理論Ⅰ・Ⅱ, 経営統計学Ⅰ・Ⅱ, 経営組織論Ⅰ・Ⅱ, 経営財務論Ⅰ・Ⅱ								
教科書									
補助教材等	プリント								
達成度評価 (%)									
(1)経営学や会計学などの観点から演習課題の目的を把握し、その内容を理解し、説明することができる。	(1)レポートで評価する。			25					
(2)これまでに修得した経営系科目の専門知識とスキルにもとづいて、グループでの討議に積極的に参加し、演習に適切に取り組むことができる。	(2)レポートで評価する。			25					
(3)演習課題の成果を適切にレポートにまとめ、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	(3)レポートおよびプレゼンテーションで評価する。			50					
評価方法 指標と評価割合	(1)レポート	(2)レポート	(3)レポート・プレゼンテーション	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	25	25	50						100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	◎						
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○	○						
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点, 学習上の助言									
<p>本授業では、これまでに経営系科目の授業で修得した経営管理、財務・会計、経営工学、統計などの知識やスキルにもとづいて、業界・企業研究をグループ単位で行う。具体的には、グループごとに調査・研究の対象とする業界や個別の企業を決定し、事業構造や財務指標、競争戦略などに関する定性的・定量的な分析を展開する。そして、企業経営上の解決すべき課題の抽出や解決案のデザインなどを行う。また、その成果を適切にレポートにまとめ、効果的なプレゼンテーションをする能力の修得と向上もめざす。なお、その過程ではグループ内外における学生同士による活発なディスカッションを促し、演習の意図の理解と学生の主体的な取り組み、ならびに論理的な思考と文章表現力を高める。これらのことにより、企業経営に関する実践的で幅広い視野や洞察力、また、さまざまな経営技法の応用力を涵養することを目的とする。</p>									

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。	
2	演習①	・グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。 ・ここでは、業界構造や競争戦略、事業内容などに関する定性的な分析を中心に展開し、討議する。	各演習テーマに関連する予習を行う。
3		・原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行うとともに、レポート課題を課すこともある。	
4		・グループワークでは、既存の代表的なケース集やビデオなどの視聴覚教材、新聞記事、公的な各種統計資料などを適宜活用しながら分析を進めていく。	
5		・各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、四半期報告書の提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。	
6			
7			
8			
9	演習②	・グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。 ・ここでは、業界構造や企業業績等に関する定量的・統計的な分析を中心に展開し、討議する。	各演習テーマに関連する予習を行う。
10		・原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行うとともに、レポート課題を課すこともある。	
11		・グループワークでは、既存の代表的なケース集やビデオなどの視聴覚教材、新聞記事、公的な各種統計資料などを適宜活用しながら分析を進めていく。	
12		・各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、四半期報告書の提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。	
13			
14			
15			

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	演習③	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。 ・ここでは、各種経営指標に注目して財務分析を中心に展開し、討議する。 ・原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行うとともに、レポート課題を課すこともある。 ・グループワークでは、既存の代表的なケース集やビデオなどの視聴覚教材、新聞記事、公的な各種統計資料などを適宜活用しながら分析を進めていく。 ・各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、四半期報告書の提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。 	各演習テーマに関連する予習を行う。
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23	演習④	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに具体的な業界や企業を取り上げて、業界研究や企業研究を行う。 ・ここでは、事業内容や競争戦略に関する定量的な分析を中心に展開し、討議する。 ・原則として学生による主体的かつ積極的な取り組みと学生同士のグループディスカッションによって演習を進めるが、必要に応じて演習の背景やディスカッションの前提となる基礎理論の講義を行うとともに、レポート課題を課すこともある。 ・グループワークでは、既存の代表的なケース集やビデオなどの視聴覚教材、新聞記事、公的な各種統計資料などを適宜活用しながら分析を進めていく。 ・各演習の最後にプレゼンテーションを実施し、四半期報告書の提出を求める。なお、場合によっては、演習テーマをさらに小単位の演習課題に分割して授業を進めることもある。 	各演習テーマに関連する予習を行う。
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30	全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			50 時間
自学自習			40 時間